みやけ MIYAKE MAKOTO

こまえをつなげる

こまつなNEWS

VOL.29
2019年09月14日
発行号

発行：責任編集
狛江市岩戸北
3-18-8-701
狛江で分かりやすい
政治を伝える会

こまえ 多摩川を SUP の聖地へ

Stand Up Paddleboard

SUPとは「STAND UP PADDLEBOARD（スタンドアップパドルボード）」の略称で、ハワイ発祥のウォータースポーツ。その名の通り、ボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進んでいく今注目のアウトドアアクティビティです。
FLAT-WATER SERIES（フラットウォーターシリーズ）は、一般社団法人サップリーグジャパンが考案した、狭い範囲の周回コースを6名で競うレース。多摩川の水辺で、9月29日（日）に開催。ぜひ裏面で詳細をチェックしてみてください！

こまえをつなげる
インタビュー

身近で観戦して手軽にできるSUPをぜひ多摩川の水辺で体感してください。

「こまえをつなげるインタビュー」、今回のお相手はSUP（スタンドアップパドルボード）のレースを企画運営しているサップリーグジャパン副代表の大森正也さんです。9月29日（日）、こまえの多摩川で開催される都市型SUPレース「フラットウォーターシリーズ」のエントリーは、只今絶賛受付中。この機会にぜひ、チャレンジしてみてください！（お話しはサップリーグジャパンの大森正也さん、聞き手は三宅まこと）

SUPのフラットウォーターシリーズとは、ズバリどういうレースですか？

SUPには、それこそハワイ諸島横断のような長距離レースもあるんですが、6kmの距離で競われるのが一般的です。このレースはもっと都会の人にも親しんでもらおうと考えました。初心者の方も気軽に参加できて、観戦しても楽しめるフォーマットにしています。

一回のレース（ヒート）人数は六名、水辺の観客の方からも近い距離で、しかも狭い範囲の周回で競われます。今回のシリーズ第一戦は湘南の相模川で行いました。第二戦以降開催している多摩川の立地はまさにピッタリなんですよ。

多摩川を会場に選ばれたポイントは何ですか？

生活の中で水辺に対する意識を持つ人々が日本で一番多い街なんじゃないかなと思っています。これ、どういうことかと言いますと、ある人はカヌーとか多摩川をアグレッシブに楽しんでいるかと思うと、レジャーガチガチでなく、ピクニック気分でフラっと来る人もいる。いろんなレイヤーの人がいるから、水辺に対しての意識できっと裾野が広いんだろうなぁと思います。

そうした人々の集う街に水辺でスポーツを体感し、観戦する文化を根付かせていきたいと思っています。

狛江の水辺を選んで下さってすごく嬉しいです。たくさんの市民の皆様にも来ていただきたいので、メッセージをお願いいたします。

はい。シリーズ第四戦は9月29日（日）開催ですが15日（日）までエントリーを受け付けています。ボードやパドルといった道具はこちらで用意しています。

初心者の方でも使いやすい安定感のあるボードです。（ページ下の）QRコードからエントリーできますので、ぜひ狛江市民の皆様、トライしてみてください。きっと、身近な多摩川の魅力を再発見できますよ。また、水辺から迫力あるレースを観戦できるのもオススメです。ぜひ、ご家族連れでもお越しください（了）

フラットウォーターシリーズ第四戦@多摩川

日程：9月29日（日）10:30集合
会場：BLUE多摩川および
和泉多摩川河川敷

大会エントリーホームページはこちらから

撮影協力:BLUE TAMAGAWA

大森正也さん